

(For School teacher)

Form 5

平成22年11月26日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 和歌山県立向陽高等学校 ・ 阿形 武芳

2. 参加研究者: 兵庫県立大学大学院物質理学研究科 Javier A. RAMON博士

3. 実施日時: 平成 22 年 11 月 26 日 (金) 13:05 ~ 15:35

4. 参加生徒: 1年生 39人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 39人)

備考: (例:理数科の生徒) 環境科学科の生徒

5. 講演題目: (英文) Nanotechnology and Biosensoes

(和文) ナノテクノロジーとバイオセンサー

6. 講演概要: バイオセンサーとは、一種の小型分析装置で形質導入システムにつながる生物的認識要素を組み入れるものである。生物システムが検出対象物と接触すると、生物的变化が起こり、形質導入によって認識、計測できるようになる。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用による講演, 実験道具の提示

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

同僚の大学院関係者によるサポート

協力者 職・氏名

兵庫県立大学大学院物質理学研究科 畠中 啓伸 氏

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

講師が作成した英語プリント、本校英語教諭による日本語訳プリント

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金 (支給経費無し)

10. その他特筆すべき事項: 特になし。